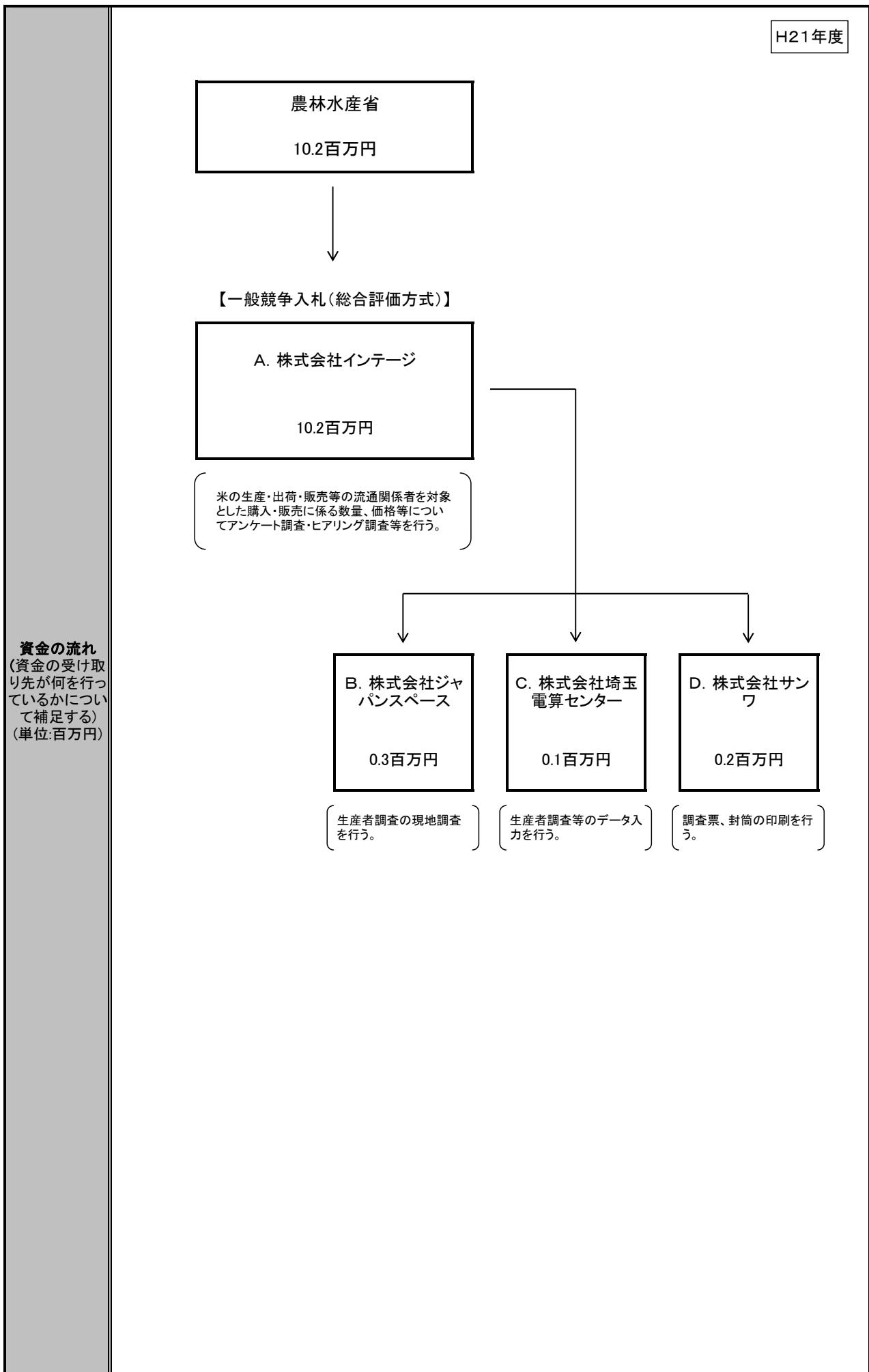


行政事業レビューシート					(農林水産省)	
予算事業名	多様な流通における米の取引動向調査事業		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	総合食料局		担当課室	食糧部計画課	計画課長 村井正親	
会計区分	一般会計		上位政策	主要食糧の需給の安定の確保		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、米の流通が多様化し、全国出荷団体の取扱シェアが低下する一方、生産者直販等の全国出荷団体を経由しない取引が増加していることにかんがみ、米の生産から消費に至る流通段階ごとの取引価格等の動向を把握するとともに、米流通の実態を的確に捉えた情報を、生産・出荷・販売の流通関係者等に発信することにより、需要に応じた米づくりに資する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	米の生産・出荷・販売等の流通関係者等を対象として、購入・販売に係る数量、価格等についてアンケート調査・ヒアリング調査等を行う。					
実施状況	一般競争入札(総合評価方式)により選定した1委託業者(応札者は4社)が各調査を実施。 ・生産者調査:20者(ヒアリング調査) ・米穀取扱業者調査:326者(郵送調査)(回答数108件(33%)) ・小売業者調査:2,953店舗(POSデータ) ・外食・中食事業者調査:2,050社(郵送調査)(回答数241件(12%)) ・一般消費者調査:1,054サンプル(インターネット調査) 本調査の結果を取りまとめた年次報告書は、委託先業者及び農林水産省ホームページを通じて公表。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算現額	-	15	15	0	0
	決算額	-	15	10		
	執行率	-	100%	67%		
	総事業費(執行ベース)	-	15	10		
自己点検 支出し先・ 用途の把握水準・ 状況	事業目的の実現のため、委託業者から各調査の進捗状況や調査票の回収状況及び支出状況について、状況報告を受けて確認している。 また、実績報告書の提出を受け、額の確定前に委託契約書第7条に基づく職員による検査を実施し、年次報告書の内容を確認するとともに、委託業者に出向いて支出の明細がわかる領収書等を確認し、支出先、用途が契約内容に適合するものかどうかを確認している。					
自己点検 見直しの 余地	平成20、21年度の2年間において、米の生産から消費に至る流通段階ごとの取引価格等の動向を把握するとともに、米流通の実態を的確に捉えた情報を、生産・出荷・販売の流通関係者等に発信するという当初の目的を達成することができたので、国の事業としては予定通り21年度限りで廃止。					
予算監視の・ 所効見率化	廃止					
	本事業は、21年度限りの事業であるが、当該年度においては、人件費やシステム利用料については、コストの更なる削減が可能であったと考えられる。また、21年度の執行率が67%と低い。以上のことから「コストの削減」、「執行額と予算額の乖離の改善」を行なうべきであった。					
補記						



A.(株)インテージ			E.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
人件費	研究員手当	4.2			
調査費	システム利用料等	2.7			
	情報購入料	0.9			
	外部発注(生産者調査の現地調査)	0.9			
	外部発注(生産者調査等のデータ入力費)	0.1			
通信運搬費	調査票発送・回収費	0.3			
印刷費	外部発注(調査票印刷費等)	0.2			
その他	一般管理費(水道・光熱費等)	0.9			
計		10.2	計		0.0
B.(株)ジャパンスペース			F.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
調査費	生産者調査の現地調査	0.3			
計		0.3	計		0.0
C.(株)埼玉電算センター			G.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
調査費	データ入力費	0.1			
計		0.1	計		0.0
D.(株)サンワ			H.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
印刷費	調査票印刷費等	0.2			
計		0.2	計		0.0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。
 使途と費目の双方で実情が分かるように記載)